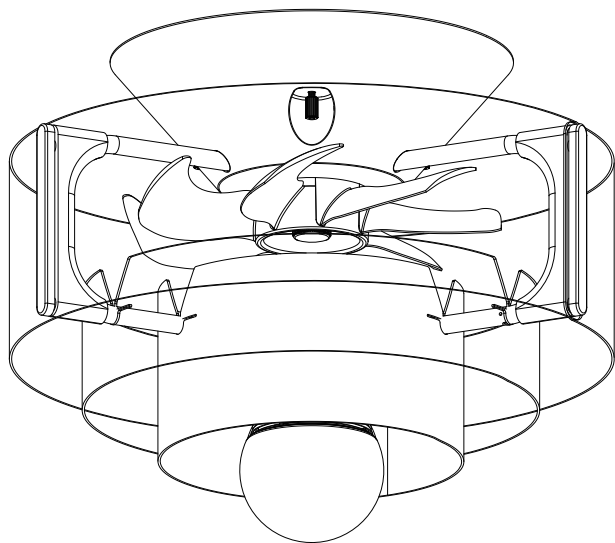


取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

【LED電球専用】

※LED電球専用です。白熱電球や電球型蛍光灯は絶対に使用しないでください。発熱により器具の変形、発火、火災、故障の原因となります。

も く じ

安全上のご注意	P.1~P.2
各部の名称とはたらき	P.3
使用前の準備	P.4~P.6
設置	P.7~P.10
正しい使いかた	P.11~P.14
お手入れと保存	P.14~P.16
修理・サービスを依頼する前に	P.17~P.18
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	P.18
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙



仕 様

品名	サーキュライト HELIX ヘリックス	
型名	DCC-B25LE / ACC-B25LE / KCC-B25LE	
電源	AC100V 50/60Hz	
ファン部	定格消費電力	約11W（風量最大時）
	機能	風量7段階調節、正逆回転切替、リズム、オフタイマー
付属LED電球	定格消費電力	約10.5W（100%点灯時）
	器具光束	AC100V 明るさ E26-100W 相当以下の表記のあるLED電球 LEDボール電球100W形相当(型番EG-G100MC)
		約 1100 lm（100%点灯時、器具に取り付けた状態） 約 1340 lm（100%点灯時、電球単体の光束）
機能	調光10段階（長押しするとき無段階）、調色5段階（長押しするとき無段階）、常夜灯2段階	
推奨使用周囲温度	5～35℃	
外形寸法	約φ410 mm × 330 mm（シェード、付属のLED電球を取り付けた状態）	
本体質量	約2.0kg（ファン部 約1.8kg / 付属LED電球 約0.16kg）	
付属品	リモコン(DCC-SR01)×1、リモコン用単4形乾電池（お試し用）×2、リモコンケース×1、リモコンケース取付用ネジ×2、取扱説明書・保証書×1 インナーシェード×1、ミドルシェード×1、LEDボール電球×1	



- LED光源にはバラツキがあるため、同じ型名の製品であっても発光色、明るさが異なる場合がございますのでご了承ください。
- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。● 取扱説明書に使用されているイラストと実際の製品は一部異なる場合があります。
- 本製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。（This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only）

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。)


図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。直流電源では使用しないでください。破損・発煙・火災・感電の原因になります。	 禁止	湿度の多い風呂場などでは使用しない。水滴がかかる場所では使用しない。火災・感電の原因になります。	 指示	調光機能のついた電源(壁スイッチなど)は使用することができないので、電気工事士資格取得者に交換工事を依頼する。 そのまま使用すると火災・故障の原因になります。 工事は販売店・工事店などに相談してください。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。感電・けがの原因になります。		配線器具が傷んだり、差し込みがゆるいときは使用しない。感電・ショート・発火の原因になります。		引掛シーリングは奥までしっかり差し込む。火災・感電・ショート・落下の原因になります。
	取り付けできない配線器具には無理に取り付けない。 (取り付けできない配線器具) ・電源端子が露出しているもの ・破損しているもの ・取り付けが不十分でグラグラするもの 火災・感電・落下してけがの原因になります。	幼児の手の届くところでは使わない。けが・感電の原因になります。	本体の取りはずしには必ず引掛シーリングのリリースボタンを押す。破損・感電の原因になります。		
	屋内専用なので、屋外では使用しない。 器具周囲温度5~35℃の範囲内で使用してください。 火災・感電の原因になります。	 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)はすぐに電源を切るか、本体を取りはずす。 火災・感電の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。 修理は販売店にご相談ください。
	調光機能付の電球機器や回路、非常用照明器具、HIDランプ(高輝度放電灯)器具での使用をしない。破損・発煙の原因になります。	 指示	取り付け・取りはずしをするときは必ず電源を切って行う。 けが・故障の原因になります。		 ぬれ手禁止
	本体に布や紙をかけたり、おおったり、熱のこもる使いかた、燃えやすいものを近づけたりをしない。 火災・故障の原因になります。		引掛シーリングにホコリが附着している場合は拭きとる。 ホコリが附着したまま差し込むと、ショート・火災の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
	ストーブなど温度の高くなるものを近く・真下に置かない。 火災・故障の原因になります。		リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う原因になります。		

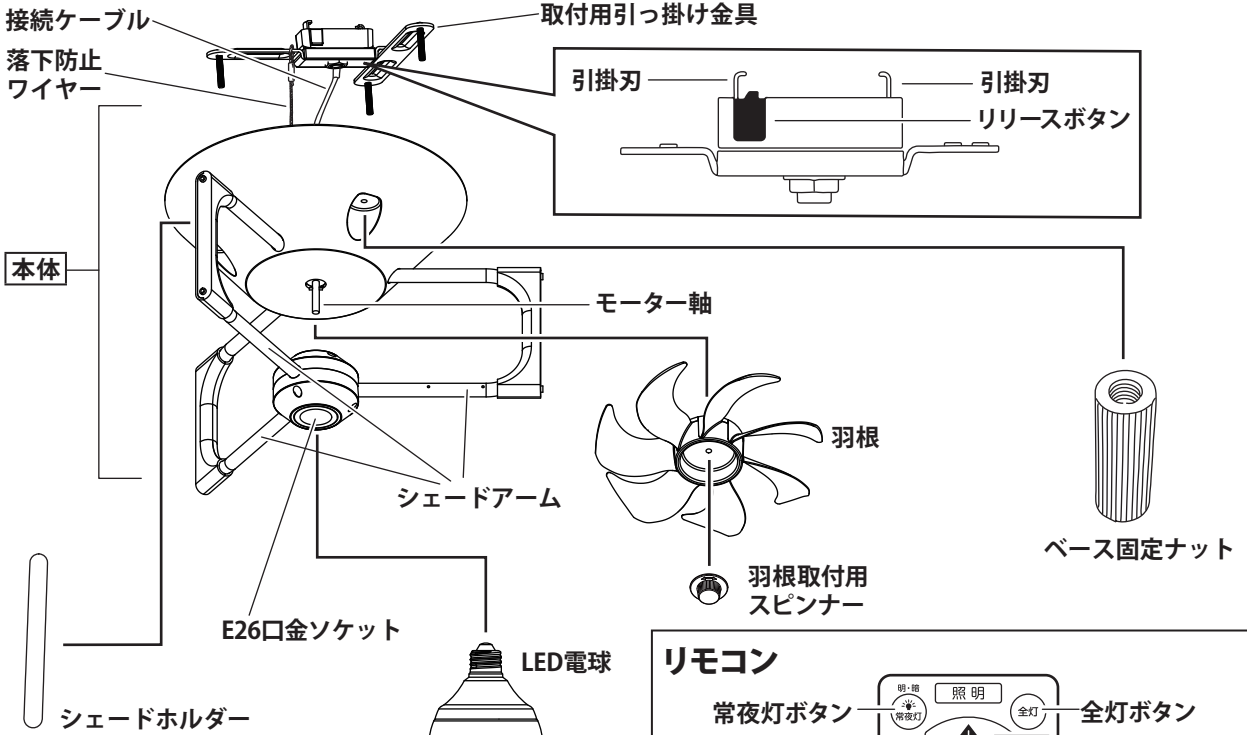
注意

 <p>指示</p>	<p>器具で指定されたワット数などを守り、確実に取り付け器具に取り付ける。 熱を持ったたり、故障、落下の原因になります。</p>	 <p>禁止</p>	<p>リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。 液もれなどの原因になります。</p>	 <p>禁止</p>	<p>開放型器具・風の通りの悪い密閉型器具に絶対に取り付けない。 本機の引掛シーリングにはロック機能があるため、取りはずしができなくなることがあります。 風が十分に送られず、熱がこもり、故障の原因になります。</p>
	<p>被照射物との距離は1m以上あける。 色あせ・変色の原因になります。</p>		<p>リモコンの電池は直射日光のあたる場所など高温になる場所に置かない。 液もれや破裂、火災などの原因になります。</p>		<p>風をからだに、長い時間続けてあてない。 健康を害することがあります。</p>
	<p>使用場所によっては、天井や壁紙などに悪影響を与えるので注意する。 連続照射・連続する風の流れの影響を考慮して設置してください。</p>		<p>ものをぶつけたり、衝撃を与えない。 けが、やけどの原因になります。</p>		<p>髪を羽根に近づけすぎない。 髪が巻き込まれ、けがをする原因になります。</p>
	<p>設置して長時間使用すると、外部に異常がなくても内部の劣化は進行するので、点検する。 点検せずに使用続けると、火災、落下による感電、けがの原因になります。</p>		<p>点灯中や点灯直後は熱くなっているため、器具に触れない。 やけどの原因になります。</p>		<p>次のようなところでは使わない。 ●レンジなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ 変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因になることがあります。</p>
	<p>リモコンの電池は⊕ ⊖を正しく入れる。 間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや、破裂の原因になります。</p>		<p>本製品の一部分が破損した場合そのまま使用を続けない。また破損した部分に直接触れたりしない。 けが・やけど、落下の原因になります。</p>		<p>お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。</p>
	<p>長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜く。 長期間入れたままにしておくと、液もれによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。</p>		<p>ラジオやテレビなどの音響機器・映像機器を近くで使用しない。 雑音の原因になることがあります。使用する場合はできるだけ離して使用するようにしてください。</p>		
	<p>リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。</p>		<p>LEDの光を直視しない。 目に悪影響をおよぼす原因になります。</p>		
	<p>シェードアームにハンガーなどをかけない。 変形・故障の原因になります。</p>				
	<p>回転している羽根に指を入れない。 けがの原因になります。</p>				

使用する前に／ご使用上の注意

- 以下の器具には絶対に使用しないでください。
 - ・調光のついた照明器具や回路。【調光:明るさを変える機能】(製品が故障したりチラツいたりする場合があります)100%点灯でも使用不可。
 - ・風呂場などの湿気が多い場所、水滴などがかかる場所。
 - ・このほかの使用器具の種類によって寸法的、熱的、その他の状況により使用できない場合があります。
- 本製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)
- 本製品の周囲温度が35°Cを超える場所では使用しないでください。(推奨使用周囲温度は5~35°Cです)。
- 酸、硫黄などの腐食性雰囲気(温泉地など)のところでは一般器具による本製品の使用はしないでください。(漏電・落下・取付引掛部品腐食の原因)。
- 直流電源では絶対に使用しないでください(AC100V、周波数50Hz/60Hz以外の電源では使用しないでください)。
- 当社製品以外のリモコンが付いた照明器具や回路でご使用される場合、正常に動作しない場合があります。
- 赤外線リモコンを採用した機器(テレビやエアコンなど)の近くで点灯しますと、リモコンが誤作動することがあります。
- 水洗いや分解、改造はしないでください。
- LED電球を直視しないでください。目に悪影響をおよぼす恐れがあります。
- 人感スイッチなどの自動点滅装置や遅れ停止スイッチなどには使用できません。
- 白熱電球や電球形蛍光灯はご使用にならないでください。
- 本製品は電波リモコンを採用しております、必ず本製品が見える位置から操作してください。

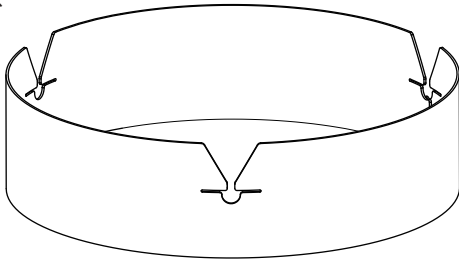
各部の名称とはたらき



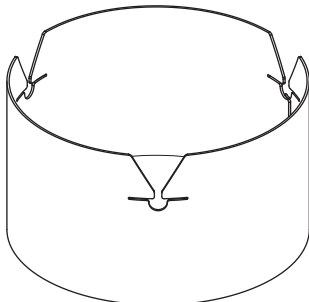
(取り付け時にはフィルムをはがしてください)
アウターシェード



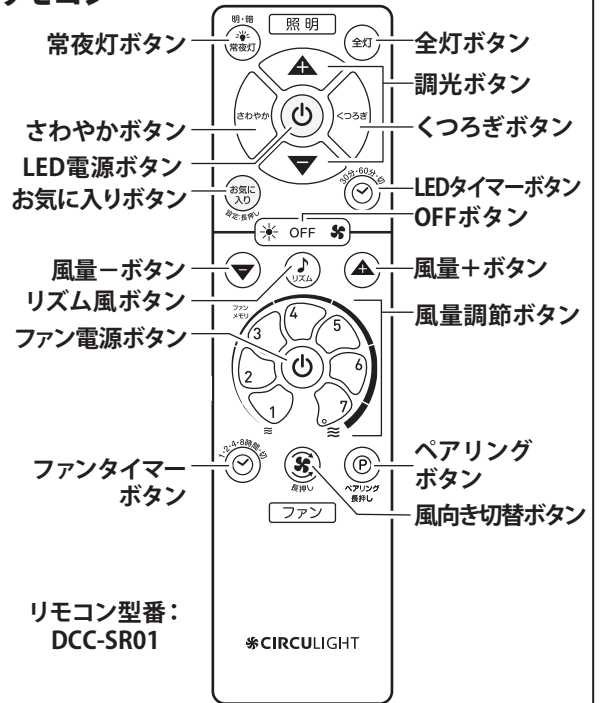
(取り付け時にはフィルムをはがしてください)
ミドルシェード



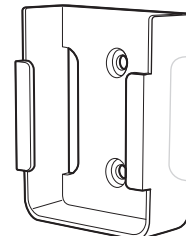
インナーシェード



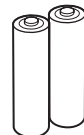
リモコン



リモコンケース



リモコン用
単4形乾電池×2
(お試し用)



リモコンケース用
ネジ×2



使用前の準備

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体.....	1個	リモコンケース.....	1個
シェード(ミドル/インナー).....	各1個	リモコンケース取り付けネジ.....	2本
LED電球.....	1個	リモコン用単4形乾電池(お試用).....	2本
リモコン.....	1個	取扱説明書(保証書含む).....	1部

リモコンの準備

下記の手順で付属の電池(単4形乾電池)を入れてください。

1. リモコン裏の電池ぶたを開く

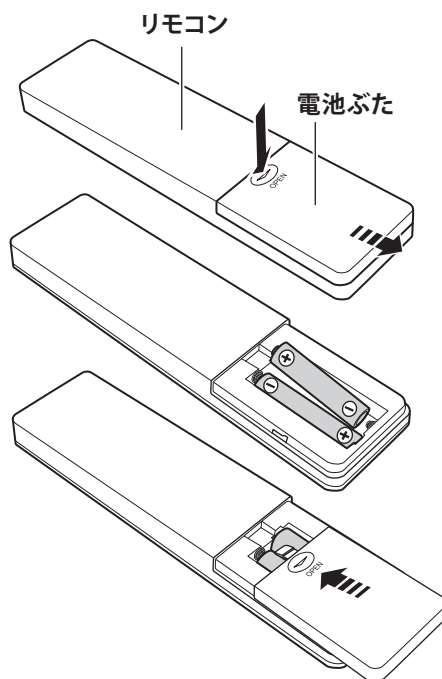
電池ぶたの「OPEN」部分を押しながら手前の方向へスライドさせて開きます。

2. ⊕と⊖の向きに注意して、電池を入れる

電池ぶたをはずして、電池を入れてください。

3. 電池ぶたを閉める

電池ぶたを右図の矢印の方向へスライドさせて閉めます。カチッと音がするまで押し込んでください。



⚠注意

- ・ 長期間使わないときは電池を取りはずす。
- ・ ⊕と⊖を正しく入れる。
- ・ 種類異なる電池や新旧の電池を混ぜて使用しない。
- ・ 電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- ・ 万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れる。

⚠注意

- ・ 電池を落下させたり、投げつけたりして強い衝撃を与えないでください。
- ・ 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。
- ・ 新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ ニッケル系乾電池(オキシライド乾電池など)は絶対に使用しないでください。
- ・ 充電式(ニカド・ニッケル水素など)電池を使用しますと、機器が持っている性能を発揮できないことがあります。(機器が誤作動するなど)
- ・ 電池の消耗により正常に作動しない場合があります。その際は新しい電池と交換してください。
- ・ 電池に表示されている使用推奨期間内に使用してください。

⚠警告

- ・ 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- ・ 電池のアルカリ液が目に入ったときは失明など障害のおそれがありますので、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
- ・ 電池を火に入れたり、加熱、分解、改造などしないでください。
- ・ 電池の(+)(-)を逆に使用しないでください。
- ・ 電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。
- ・ 電池の(+)(-)を針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保存しないでください。
- ・ 付属の電池は充電式につくられていません。充電すると液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
- ・ 使い切った電池はすぐ機器から取り出してください。
- ・ 長期間機器を使用しない場合には、機器から電池を取り出してください。電池を入れたままにしておくと液漏れがあり危険です。

使用前の準備 (つづき)

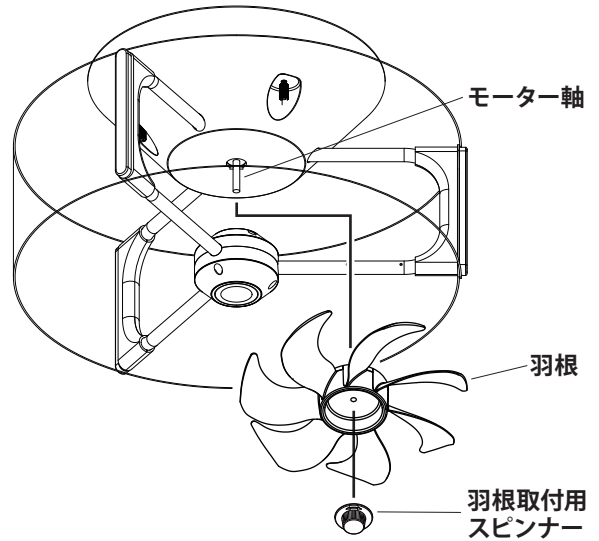
本体から羽根と取付用引っ掛け金具を取りはずす

設置作業をするために、羽根と取付用引っ掛け金具を取りはずします

1. 羽根を取りはずす

羽根取付スピナーをはずし、羽根を取りはずします。

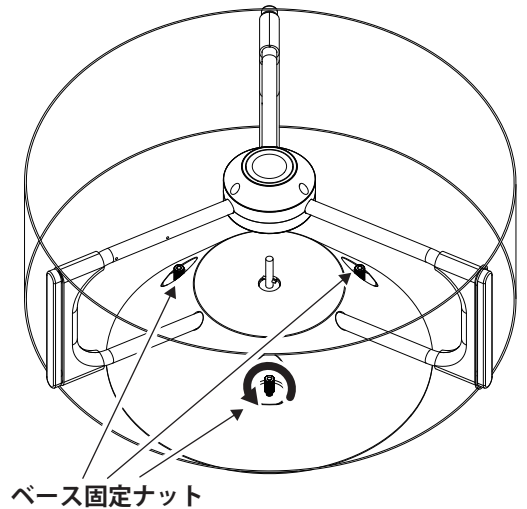
- 羽根取付スピナーは羽根をやさしくおさえながら右(時計方向)に回して取りはずします。



2. ベース固定ナットを取りはずす

取付用引っ掛け金具に固定している3本の本体固定ナット(ネジ)を左に回して取りはずします。

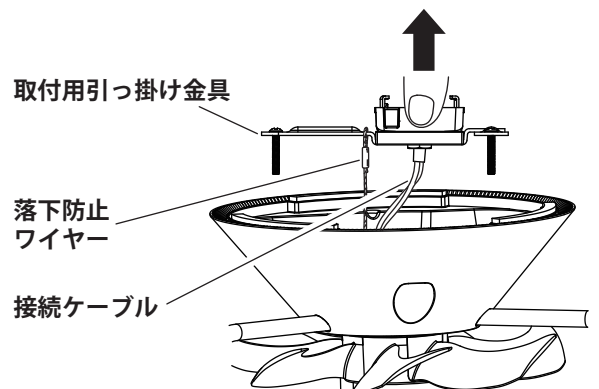
- はずしたベース固定ナット(ネジ)は設置作業で使いますので、なくさないようにご注意ください。



3. 取付用引っ掛け金具を取りはずす

取付用引っ掛け金具を矢印の方向に取りはずします。

- 取付用引っ掛け金具は落下防止ワイヤーと接続ケーブルで本体と繋がっています。
- 落下防止ワイヤーは、非常時の脱落を防ぐためのものです。持ち運びや設置の際には、必ず本体をしっかりと保持してください。



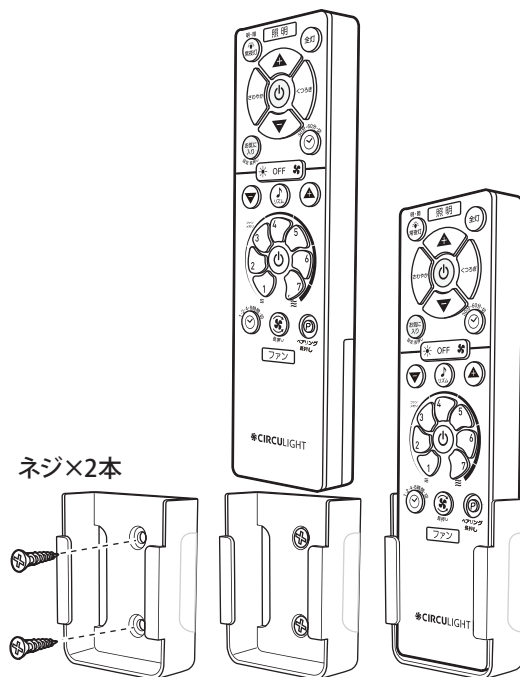
⚠️ 注意 羽根を持って作業しないでください。破損や回転不良の原因になります。

⚠️ 注意 取付用引っ掛け金具を持って本体をぶら下げたり、振り回したりしないでください。結合部の破損や落下の原因となります。

リモコンケースを設置する

付属のリモコンケースは、付属のネジ2本を使用して本体が見える位置に設置してください。

※ 設置場所によってはリモコンケースに入れたまま操作しても、本製品は反応しないことがあります。



設 置

取り付け前の確認事項

警告 配線器具への取り付け・取りはずしや、お手入れをするときは、必ず壁スイッチを切って行う。

1. 取り付ける天井の状態を確認する

・右図「取り付けることのできない天井」のような天井になっていないことを確認してください。

2. 取り付ける天井についている配線器具を確認し、配線器具の出しろを計測・確認する

・天井に右図「取り付けることのできる配線器具」のような配線器具が設置されていれば、取り付けることができます。

・ただし、配線器具が以下のようなものである場合は取り付けできません。

取り付けできない配線器具

- ・電源端子が露出しているもの
- ・破損しているもの
- ・取り付けが不十分でグラグラするもの
- ・ケースウェイに取り付けてあるもの
- ・配線だけのもの
- ・出しろが少ないもの（埋込ローゼット/10mm以下、引掛シーリング/21mm以下）

・配線器具が設置されていない場合や、取り付けできない配線器具でも交換により取り付けできる場合がありますので、販売店・工事店にご相談ください。

3. 取り付ける電源（壁スイッチなど）に調光機能がないことを確認する

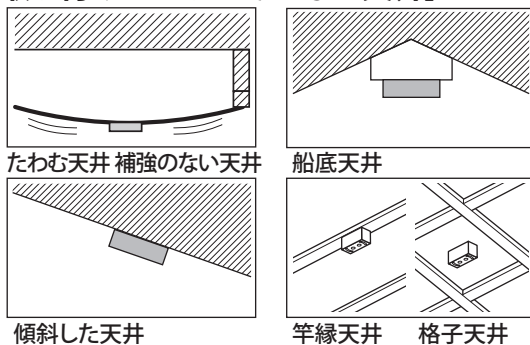
・調光機能のついた電源（壁スイッチなど）の場合、使用できません。販売店・工事店にご相談ください。

4. 周囲の環境を確認する

以下の場所には設置できません。

- ・湿度の高い場所 水がかかる場所 結露の発生する場所 屋外
- ・直射日光のあたる場所 火や熱源に近いところ

【取り付けることのできない天井】



【取り付けることのできる配線器具】



出しろ11mm	出しろ22mm	
引掛埋込ローゼット	丸型フル引掛シーリング	丸型引掛シーリング
引掛埋込ローゼット (ハンガーなし)	丸型フル引掛ローゼット	角型引掛シーリング

【取り付けできない配線器具】

電源端子が露出しているもの	破損しているもの	取り付けが不十分でグラグラするもの
ケースウェイに取り付けてあるもの	埋込ローゼット 10mm以下	引掛シーリング 21mm以下
配線だけのもの	出しろが少ないもの	

調光機能付			スイッチのみ	
×	×	×	○	○

※ 上記イラストのようなスイッチ以外にも、調光機能の付いたスイッチは使用できません。

配線器具への取り付け

警告	お客様自身で取り付ける場合は、重量物のため必ず2人以上で作業する。
-----------	-----------------------------------

注意	羽根やアウターシェードを持って作業しないでください。破損や回転不良の原因になります。
-----------	--

1. 壁スイッチが切になっていること確認する
2. 天井の配線器具に取付用引っ掛け金具を取り付ける

取付用引っ掛け金具の2つの引掛刃を差し込み①、「カチッ」という音がするまで取付用引っ掛け金具を右に回します②、ロックされてはずれなくなります。

- ・やりなおし、取りはずす場合はリリースボタンを押しながら取付用引っ掛け金具を左に回してください。

※回す方向は、下側から見た方向です。

注意	2つの引掛刃を同時に挿入して回してください。取り付けが不十分だと、落下してけがの原因になります。
-----------	--

注意	リリースボタンを押さないで回してみても、はずれないことを確認する。取り付けが不十分だと、落下してけがの原因になります。
-----------	---

3. 取付用引っ掛け金具に本体を取り付ける

取付用引っ掛け金具のネジ3カ所を本体のネジ穴に通して③、本体を上押し上げます④。

天井に本体を軽く押し当て保持します。

本体を通した3カ所のネジ⑤にベース固定ナットで固定します。

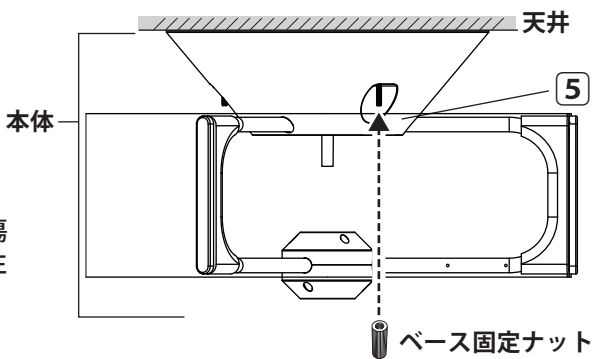
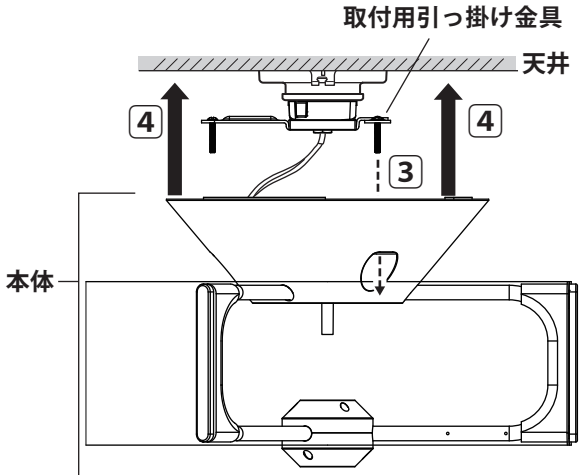
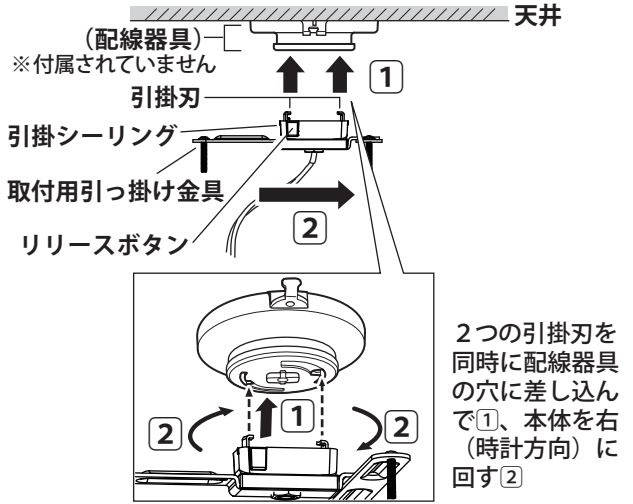
- ・ベース固定ナットは回しすぎると天井の素材を傷つけたり、配線器具の破損により落下の危険性もありますので適度に調節してください。

4. 羽根を取り付ける

羽根の向きを確認してモーター軸へ差し込み、羽根を軽く押さえながら羽根取付スピナーを左（反時計方向）に回して固定します。

注意	羽根取付スピナーはしっかりと取り付ける。羽根がはずれて事故の原因になります。
-----------	--

天井に固定された配線器具をご使用ください。



当社サイトに取り付け方法の動画を掲載しています。
サーキュライト HELIX ヘリックス：
DCC-B25LE / ACC-B25LE / KCC-B25LE

CIRCU LIGHT
取り付け方法 HOW TO 動画
<https://circulight.com/support/>



設置 (つづき)

5. インナーシェード/ミドルシェードをアームに取り付ける

ミドルシェード → インナーシェードの順に取り付けます。

(フィルムをはがしてから取り付けてください。)

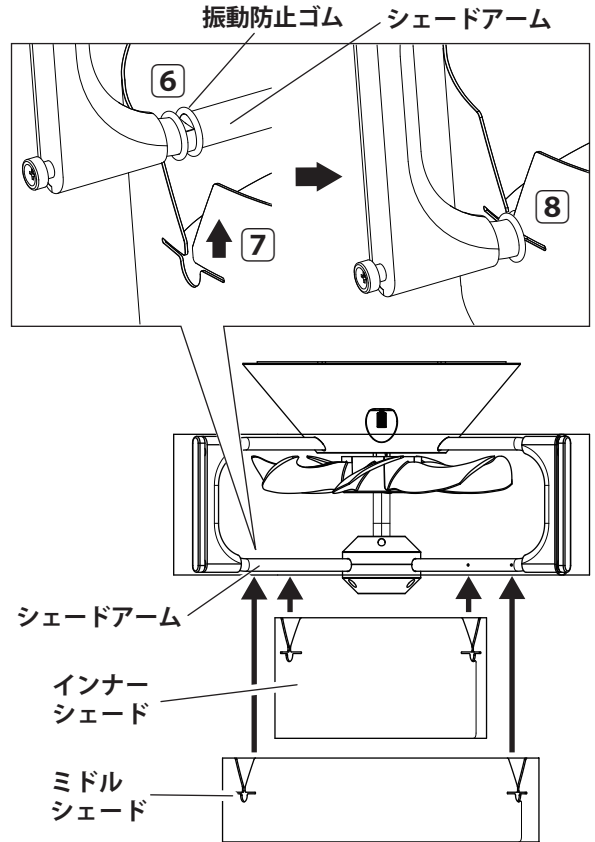
1. シェードを本体の下から持ち上げます。
2. シェードの切り欠き部分をアームの溝に合わせます⑥。
3. 図の矢印⑦の方向に差し込み、確実に固定されるまで押し込んでください⑧。
4. 最後に振動防止ゴムでシェードを挟みこんでください。

- ・透明な素材は汚れやキズが目立ちやすいため、慎重に作業を行ってください。
- ・やりなおし、取りはずす場合はシェードアームをしっかり保持しながら、シェードをゆっくりと引き抜いてください。



注意

シェードを無理に変形させたり、押し込んだりしないでください。
破損や割れの原因となります。



6. 付属のLED電球を取り付ける

安全のため、必ず電源（壁スイッチ）が切れていることを確認し、指入れ防止カバーを外してから作業を行ってください。

1. 付属のLED電球を、ソケットの真下から垂直に差し込みます。
2. 電球を時計回りに止まるまでゆっくりと回し、確実に締め付けてください。
3. その際、斜めに差し込んだり、強く締めすぎたりしないよう注意してください。

- ・E26口金ソケットには付属のLED電球以外の取り付けも可能です。
- ・明るさが100W相当以下、または消費電力が10.5W以下の表記があるLED電球が使用可能です。
- ・付属のLED電球以外の取り付けの場合は調色、調光はできません。点灯、消灯は可能です。



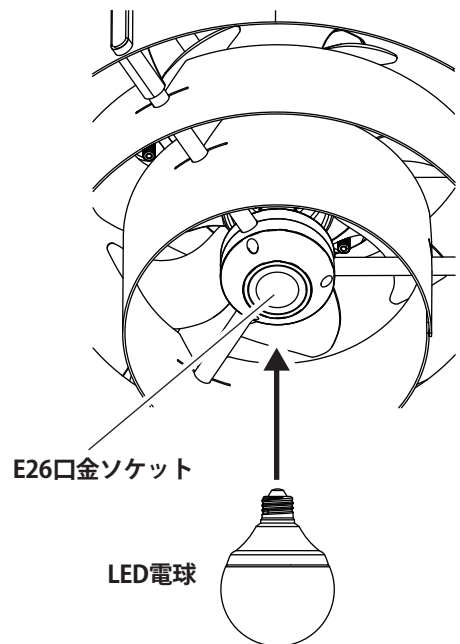
警告

白熱電球や電球形蛍光ランプは絶対に使用しないでください。
発熱により器具の変形、発火、火災、故障の原因となります。



警告

E26口金ソケットに指を入れないでください。
取り付けや取り外しの時は電源(壁スイッチ)をお切りください。
感電の原因となります。



7. 本体とリモコンをペアリング(接続設定)する

① 本体を「ペアリングモード」にする

以下の操作を行うと、本体がペアリングモード(待機状態：約1分間)になります。モードに入ると、「ピッ・ピッ・ピッ」と音が鳴り続け、LED電球が点滅します。

- 電源(壁スイッチ)をONにしてから、OFF ⇒ ON ⇒ OFF ⇒ ON ⇒ OFF ⇒ ON と切り替える。(ONの時間3秒以内、OFFの時間3秒以上)
- ペアリングモードは約1分間持続します。

※ペアリングモードに入っても音が鳴らない若しくは点滅しないときがあります。その際はペアリングモード解除後(約1分経過後)再度ペアリング設定をゆっくり行ってください。

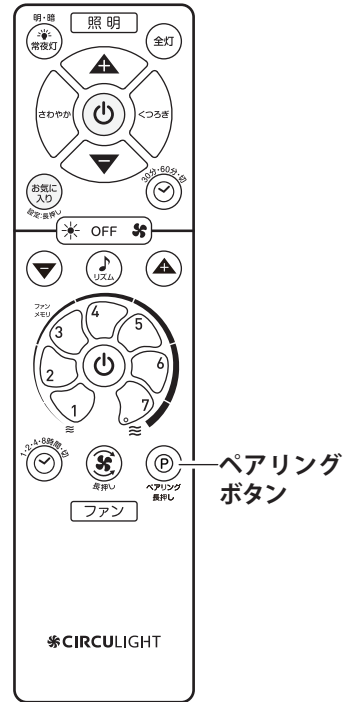
② リモコンをペアリングする

本体がペアリングモードになったことを確認し、リモコンの「ペアリングボタン」を5秒長押しします。

- ペアリングが成功すると、「ピピッ」と音が鳴りLED電球が点灯状態になります。

③ 本製品を2台設置する場合のペアリング方法

- 1台ずつ個別にペアリングする場合
手順①、②に従って、1台ずつペアリングしてください。
- 壁スイッチが共通の場合
2台を個別にペアリングと操作ができません。1台のリモコンで2台を操作します。
- 2台の本体を1台のリモコンで操作したい場合
2台を手順①でペアリングモードにして、2台がペアリングモードになったことを確認し、手順②でペアリングします。



※2台の本体を1台のリモコンとペアリングした場合
電波の状況により2台が同時に動作しない場合がまれに発生します。



注意

本製品をリモコンで操作する場合は、必ず
本製品が見える位置から操作してください。

無線仕様 (リモコン)

使用周波数帯	: 2.4GHz帯 (Wi-Fi等と同一帯域を使用)
無線方式	: GFSK
対応規格	: ISMバンド機器
通信距離	: 約10m (見通し)
チャンネル数/ID数	: 1チャンネル
対応機能	: ペアリング機能の有



注意

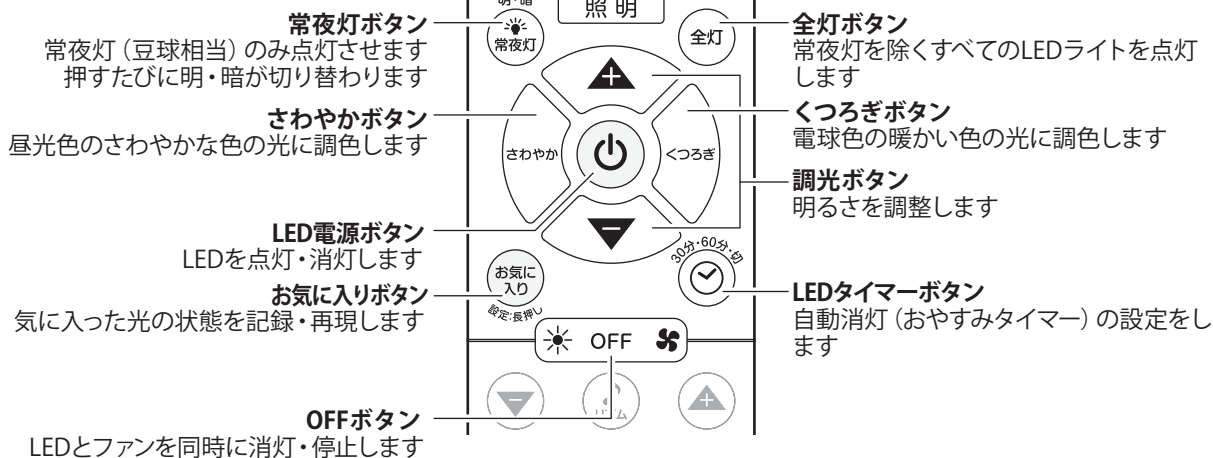
2.4GHz電波式リモコンに関する注意

- 使用環境について本製品は2.4GHz帯の無線通信を使用しています。同帯域はWi-FiやBluetoothなどでも利用されているため、周囲の電波状況によっては動作が不安定になる場合があります。電子レンジ、無線機器、他のリモコン機器の近くでは正常に動作しないことがあります。
- 通信距離・設置について通信可能距離は周囲環境により異なります。壁、金属、家具などの障害物がある場合、通信距離が短くなる場合があります。器具とリモコンの間はできるだけ見通しの良い状態でご使用ください。
- 誤動作・混信について複数の同種機器を近距離で使用すると、混信や誤動作が発生する場合があります。必要に応じて個別設定(ペアリング・チャンネル設定等)を行ってください。
- 安全上の注意本製品の電波は壁や天井を通過するため、意図しない場所から操作される可能性があります。設置場所や使用環境には十分ご注意ください。医療機器の近くでは使用しないでください。機器に影響を与えるおそれがあります。
- 電池についてリモコンの電池残量が低下すると、操作距離の低下や動作不良の原因となります。長期間使用しない場合は電池を取り外してください。
- 本製品は日本国内の電波法に適合しています。

正しい使いかた《LED》

※付属のLED電球が対象です。

リモコン (上半分)



LEDの点灯・消灯

1. 電源 (壁スイッチなど) を入れてからリモコンの^{全灯}全灯ボタンを押す

正常に接続されていると、調光100%で点灯します。

- 点灯しない場合、接続に問題があることがあります。電源 (壁スイッチなど) を切って、以下の点を確認してください。

- 配線器具と引掛シーリングの接続
- 引掛シーリングと配線器具との接続を目視で確認

上記接続に問題がないことを確認してから電源 (壁スイッチなど) を入れてください。

2. リモコンの^{調光}調光ボタン・^{さわやか}さわやか/^{くつろぎ}くつろぎボタンを押して調光・調色する

^{調光}調光ボタン・^{さわやか}さわやか/^{くつろぎ}くつろぎボタンを押すことで調光・調色します。

- ^{調光}調光ボタンは、押すたびに少しずつ明るく (もしくは暗く) なります (10段階) 長押しすると無段階調光することができます。
- ^{さわやか}さわやか/^{くつろぎ}くつろぎボタンは、さわやかボタンで昼光色のさわやかな色、くつろぎボタンで電球色の暖かい色に調色することができます (5段階) 長押しすると無段階調色することができます。

3. お気に入りの調光・調色をメモリーしておくときは、^{お気に入り}お気に入りボタンを長押しする

^{お気に入り}お気に入りボタンを長押しすると、現状の調光・調色がメモリーされてLEDが電球色で2回点滅します。^{お気に入り}お気に入りボタンを押すとメモリーが再現されます。

4. 常夜灯を点灯するときは、^{常夜灯}常夜灯ボタンを押す

^{常夜灯}常夜灯ボタンを押すと、全体のLEDが消灯し、常夜灯が点灯します。

- 常夜灯には明暗があり、^{常夜灯}常夜灯ボタンを押すたびに明暗が切り替わります。

5. おやすみタイマーを設定する

点灯時、^{LEDタイマー}LEDタイマーボタンを1回押すと、30分後に自動で消灯します。2回押すと、60分後に自動で消灯します。タイマーを解除するときは、もう1度押ししてください。

※解除されたとき、タイマー設定時よりも長く音が鳴ります。

おやすみタイマーの音

音のイメージ	ピッ	ピピッ	ピー
タイマー時間	30分	60分	解除

6. リモコンで点灯・消灯するときは、 Ⓞ LED電源ボタンを押す

Ⓞ LED電源ボタンを押すと、ファンに関係なくLEDのみ点灯・消灯をすることができます。

7. リモコンの *** OFF *** OFFボタンまたは壁スイッチで消灯する

*** OFF *** OFFボタンを押すと、壁スイッチで電源を切ったときのように、LEDとファンが同時に停止します。

- どちらかのみ電源を切る場合は、Ⓞ LED電源ボタンまたはⓄ ファン電源ボタンを押して電源を切ります。

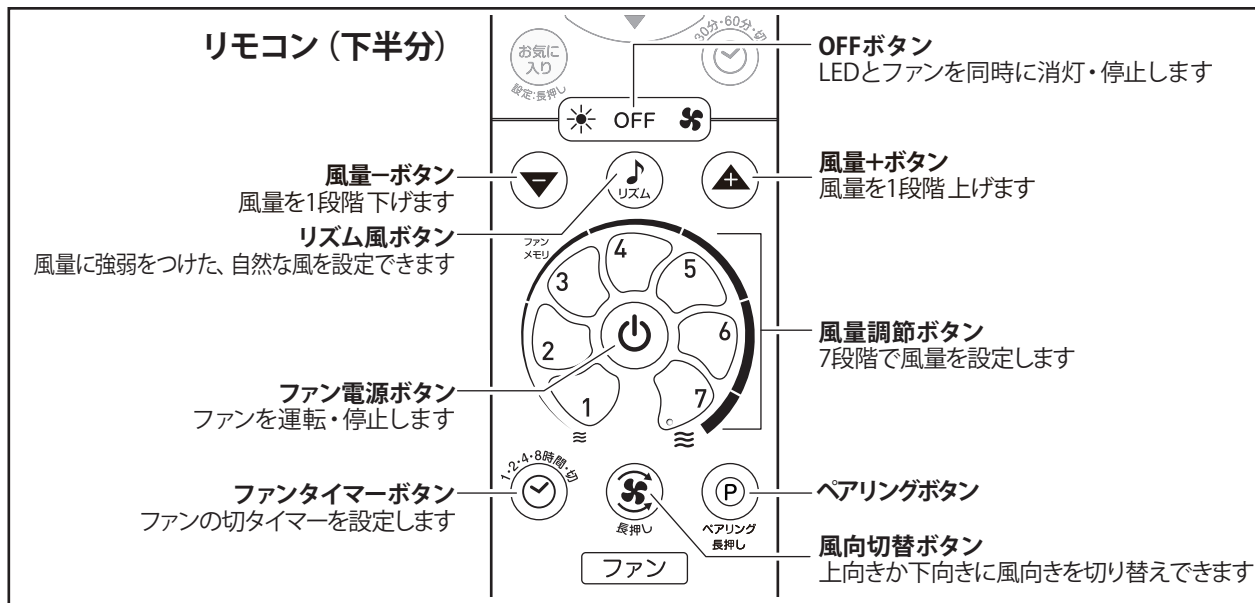
壁スイッチメモリー

壁スイッチで入・切する場合、壁スイッチで切った最後の状態で点灯します。ただし、常夜灯、消灯はメモリーされず、最後の状態で点灯します。

リモコンメモリー

電源ボタンで切(OFF)にした最後の状態で点灯します。(常夜灯はメモリーされません)

正しい使いかた《ファン》



運転を開始／停止する

1. 運転を開始する

リモコンの④ファン電源ボタンを押すと、ファンの運転を開始します。

- 通常の使用時にはメモリー機能により、前回停止時の風量で運転を開始します。

ファンは壁スイッチで電源を切った場合、次に電源を入れた時に、(購入時は)運転を開始しません(設定により壁スイッチで運転開始ができます)。

壁スイッチでファンを運転させる

- 風量調節ボタンの3(ファンメモリ)を長押しする設定されると「ピッピッ」と音がします。

キャンセルする場合

- 再度、風量調節ボタンの3(ファンメモリ)を長押しするキャンセルされると「ピーッ」と音がします。

2. 風量を調節する

リモコンにある7つの風量調節ボタンを押して風量を調節してください。

- 1が一番弱く、7が一番強い風になります。

3. リズム風機能を作動させる

運転中にリモコンの⑤リズム風ボタンを押すと機能が切り替わります。

⑤リズム風ボタンを1回押すと、リズム風になり、2回押すと解除され普通の風に戻ります。

リズム風設定		
音のイメージ	ピッ •	ピー —
リズム風	リズム風	リズム風解除

リズム風 風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。風量を切り替えることで風量パターンが変化します。

4. 切タイマーを設定する

運転中に、⑥ファンタイマーボタンを押す回数で切タイマー時間が設定されます。

設定された時間に対応した音が鳴り、設定されたことがわかります。

切タイマー設定

音のイメージ	ピッ	ピッピッ	ピッピッ ピッ	ピッピッ ピッピッ	ピー
	•	••	•••	••••	—
切タイマー	約1時間	約2時間	約4時間	約8時間	解除

- 切タイマーをキャンセルするときには、⑥ファンタイマーボタンを何度か押して、ピーと音が鳴ることを確認してください。

5. リモコンの④ファン電源ボタンを押して運転を停止する

運転中にリモコンの④ファン電源ボタンを押すと、運転を停止します。

6. リモコンの[* OFF *]OFFボタンまたは壁スイッチで消灯・運転停止させる

[* OFF *]OFFボタンを押すと、壁スイッチで電源を切った時のように、LEDとファンが同時に停止します。

切り忘れ防止機能

ファン電源ON、または最後のリモコン操作から約12時間経過すると、ファンの運転が自動的に停止します。

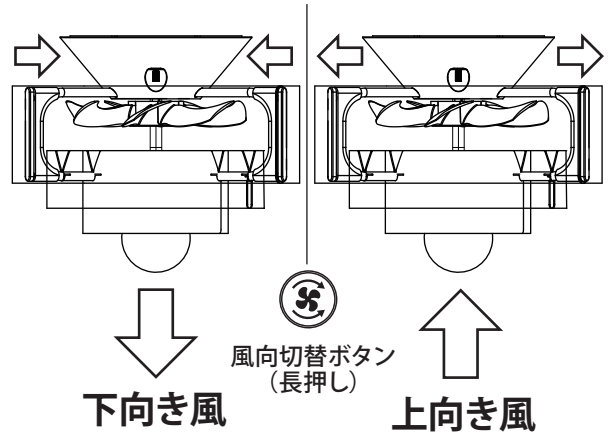
上下の風向きを変更する

1. 風向切替ボタンで風向きを変更する

⑤ 風向切替ボタンを長押しすることでファンの風向きを変更することができます。

- ・下向き風・下降 風を下向きにすることにより、体感温度を下げるすることができます(冷房時に有効)。
- ・上向き風・上昇 風を天井に当て、高いところにある暖かい空気を下に循環させることができます(暖房時に有効)。

※一度羽根を止めるため、風向切替には少し時間がかかります。



お手入れと保存



お手入れの際は、必ず壁スイッチを切り、配線器具からははずす。
火災・感電・けがの原因になります。

お願い

- ・住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- ・本体に水をかけて洗わないでください(感電・故障の原因になります)。

お手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤(柑橘系を除く)に浸して、かたくしぼった柔らかい布で拭きとり、さらに乾いた布でやさしくから拭きをしてください。

- ・樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。
- ・本体から取り外した3種類のシェードと羽根のみ丸洗いすることができます。

配線器具からの取りはずしかた

1. 壁スイッチを切になっていることを確認する
2. 設置(P.7~P.9)を参考に逆の手順で取り外す



- ・取りはずし作業は、適切な脚立などを使用し、落下させないように、2人以上で行う。
- ・取りはずしは回しすぎないように注意する。破損・故障の原因となります。

お手入れと保存 (つづき)

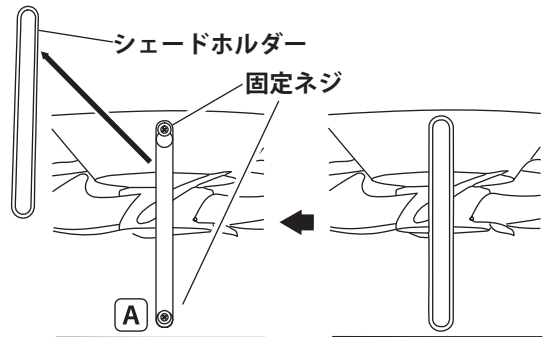
アウターシェードの取りはずしかた

3カ所のシェードホルダーを取りはずし、アウターシェードを取りはずします。

1. シェードホルダーを取りはずす

マグネットになっている固定ネジに固定されているシェードホルダーを取りはずします。

- ・透明な素材は汚れやキズが目立ちやすいため、慎重に作業を行ってください。
- ・取りはずしが困難な場合はシェードの下の丸穴部(A)を少し浮かせると簡単に取りはずせます。

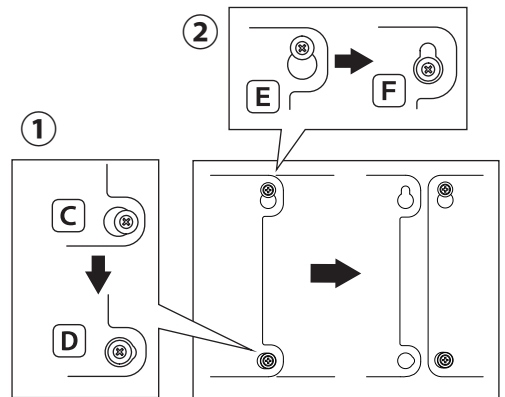



2. アウターシェードを取りはずす

アウターシェードの巻き始めに重なっている、巻き終わりの端回から取り外します。

- ①シェード下部の鍵穴(C)を右方向にスライドさせて(D)の位置でシェードを取りはずします。
- ②シェード上部の鍵穴(E)下を上方向にスライドさせて(F)の位置でシェードを取りはずします。
- ③反時計回りに手順①、②にしたがってアウターシェードを取りはずします。

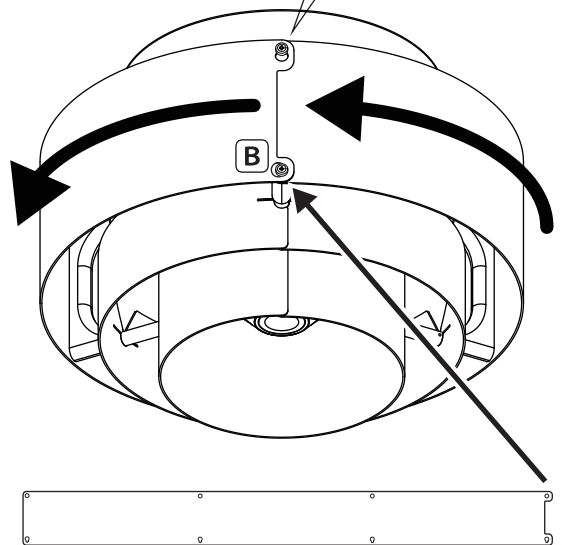
- ・透明な素材は汚れやキズが目立ちやすいため、慎重に作業を行ってください。




 注意	シェードを無理に変形させたり、押し込んだりしないでください。 破損や割れの原因となります。
---	--

アウターシェードの取り付けかた

- ・アウターシェードの取り付けは、取りはずしかたの逆の手順で行ってください。



定期的なお手入れ

 警告	お手入れをするときは、必ず壁スイッチを切って、本体を取りはずして行う。
--	-------------------------------------

羽根は定期的にお手入れしてください

- 使用しているうちに風が弱くなった場合、羽根にホコリなどが付着して、風量が低下している可能性があります。

ホコリなど汚れが付いていないように見えても、風が弱くなったと感じられるときは、お手入れで改善することがあります。

シェードの定期的なお掃除について

- シェードの表面には静電気によりホコリが付着しやすくなっています。

市販の静電気防止スプレーをご使用いただくのがおすすめです。

あらかじめスプレーしておくことで静電気の発生を抑え、汚れが付きにくくなり、美しい状態をより長く保つことができます。

保存のしかた

- 長期間(3か月以上)設定を変更せず、リモコンを使用しないときは、電池を取りはずしておいてください。
- 本体を取りはずして保存する場合は、お手入れをして、十分乾燥させてから、ホコリが付かないようにビニール袋などに入れて、湿気のない場所に保存してください。

当社サイトに取り付け方法の動画を掲載しています。
サーキュライト HELIX ヘリックス：
DCC-B25LE / ACC-B25LE / KCC-B25LE

 **CIRCULIGHT**

取り付け方法 **HOW TO** 動画

<https://circulight.com/support/>



修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
LED部		
点灯しない	電源(壁スイッチなど)が「切(OFF)」になっている	電源(壁スイッチなど)を「入(ON)」にする
	ブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	引掛シーリングと配線器具が確実に接続されていない	引掛シーリングと配線器具を確実に接続する
点灯中・消灯直後など異音がる	使用環境により電源部から多少の音が発生することがあります	問題ありません。
ファン部		
羽根がまわらない	電源(壁スイッチなど)が「切(OFF)」になっている	電源(壁スイッチなど)を「入(ON)」にする
	ブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	引掛シーリングと配線器具が確実に接続されていない	引掛シーリングと配線器具を確実に接続する
突然運転が止まる	切り忘れ防止機能(12時間)がはたらいている(13ページ)	リモコンの㊟ファン電源ボタンを押して運転を開始してください
	タイマーボタンを押した	リモコンの㊟ファン電源ボタンを押して運転を開始してください
異音がる	天井へ正しく取り付けられていない	天井への取り付けを再度確認する
壁スイッチでファンが動作しない	問題ありません(壁スイッチでファンが動作するように設定していない)	壁スイッチでファンが動作するように設定する(「壁スイッチでファンを運転させる」(13ページ))
共通部		
リモコンが正常に動作しない	リモコンの電池が正しく取り付けられていない	リモコンの電池を正しく入れなおす
	リモコンの電池が切れている	リモコンの電池を新しいものにする
	本体またはLED電球とリモコンがペアリングされていない	本体、LED電球とリモコンをペアリングする(10ページ)

修理・サービスを依頼する前に（つづき）

よくあるご質問

Q	停電復帰後に勝手に点灯してしまいます。
A	正常動作です。（壁のスイッチは「入（ON）」状態で、リモコンで「切（OFF）」にしていた場合）通常の停電復帰時は、スイッチやリモコンを探する必要がないよう、照明が点灯した状態で復帰する設定になっています。点灯中に停電などで一定時間電源が切れた場合、直前の点灯状態で点灯します。
Q	停電復帰後、勝手に点灯しないようにできますか。
A	壁スイッチを「切（OFF）」にしてください。照明器具側では設定できません。
Q	LED部またはファン部が故障しました
A	どちらかが故障した場合は、ご使用を中止して販売店またはドウシシャお客様相談室にご相談ください。

長年ご使用の場合はよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・電源を入れても点灯しない。
- ・チカチカしたり点滅する。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。



このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、使用を中止してください。
製品の故障または寿命と考えられるため、販売店またはドウシシャお客様相談室にご相談ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※経年劣化により発火・けが等の事故の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行なっています。

	[製造年] (本体に西暦 4 桁で表示してあります)
	[設計上の標準使用期間] (本体に表示してあります)
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。	

（設計上の標準使用期間とは）

※下表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件〈JIS C9921-1による〉

環境条件	電圧	AC 100V	製品の取扱説明書による
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	30°C	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	
負荷条件		定格負荷(風速)	
規定時間 など	運転時間	10h/日	
	運転回数	5回/日	
	運転日数	180日/年	
	スイッチ操作回数	900回/年	

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

アフターサービスについて

●製品の保証について

1. この製品には保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
2. 保証期間はお買い上げの日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. 保証期間後の修理は販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理いたします。

●修理を依頼されるときは

警告

- ・故障のときは、ただちに使用をやめて配線器具から取りはずし、お買い上げの販売店にこの製品をお持込みのうえ修理をお申しつけください。
- ・ご自分で修理はしないでください。たいへん危険です。

アフターサービスについてわからないことは…

お買い上げの販売店、またはドウシシャお客様相談室にお問い合わせください。